

Kitakyushu Foreign Trade Association

# GLOBAL VIEW

2021 AUTUMN No.58

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2021年・秋号

- 言志私録 ● 『人・事』に学び・感謝 行橋商工会議所 会頭 佐藤 政治 ..... 1
- 特 集 ● 活動範囲拡大で感じたこと～中国の注目都市～ ..... 2
- 会員情報 ● 会員だより①「(株)ワキノアートファクトリー」 ..... 4  
                  会員だより②「(株)ジェネック」 ..... 6
- ニュース ● アジア経済情報 ..... 8
- 貿易実務 ● 「貿易保険」をご存じですか? ..... 9



Kitakyushu Foreign Trade Association

公 益 社 団 法 人 北九州貿易協会



行橋商工会議所  
会頭

佐藤 政治

## 『人・事』に学び・感謝

この度、本協会の巻頭分を寄稿する機会を賜り、心より感謝申し上げます。

本協会の副会長に就任以来、種々の行事等々が全て書面開催という事で、貿易協会については、未だ不勉強であり恐縮している次第であります。

さて、世界的なコロナ禍の中、オリンピック、パラリンピックが57年ぶりに日本で開催されました。

コロナ感染拡大が懸念される中、開催には賛否両論がありましたが、無観客開催にて実施され、各競技のアスリートのパフォーマンスを通じ、多くの感動をいただきました。

特に開催国である日本選手の活躍で、メダルの多さもさる事ながら、一年間開催延期を余儀なくされましたが、今までの苦労を見事に跳ね返し結果を残されました。

さらに、大会運営関係者はもちろんですが、陰で支えた多くのボランティアの皆様には、日本の「おもてなしの心」が、多くの海外選手や海外メディアの方々に伝わり、競技会場や様々な場所で日本人の心、治安の良さ、食事の美味しさ等々が、海外プレスを通じて世界に配信された事は、大変良かった事ではないでしょうか。

大変恐縮ではございますが、ここで弊社の紹介を少しさせていただきます。

九州一円及び西日本地区の小売業の方々に、チルド温度帯の加工食品を中心に、卸売りと物流を生業としていますが、世の中が種々の事象により急激に変化、変革が起きている昨今です。

私共の関わっている流通の業界でも、その変化に対応する為、何をすべきか自問自答の連続です。

地域の皆様に生産から消費して頂くため、より豊かで安心、安全な生活シーンを想い、日々改善改革をしている会社です。

ただ、商品を調達、流通、販売する事だけが仕事ではなく、商品の流通を通じて地域の皆様に生産者の温かい心を運べる流通を目指す企業でありたい、流通とは「心の流通である」と云う思いで感動をしていただけるよう、日々、精進、努力の連続です。

今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。

佐藤一斎の語志録より

「少にして学ばば、壮にして為す有り、壮にして学ばば老いて衰えず、老いて学ばば死して朽ちず」という一文が大好きです。

常にあらゆる「人事」に出会い、感謝して学び、今日より明日と人間力を培える様、研鑽、努力をするべきだと訓えられます。

江戸後期、越後の僧侶良寛和尚の言葉で、「俺が、俺がの我を捨てて、おかげ、おかげの下で暮らせ！」

謙虚に看却下で、皆様に感謝しながら、今はコロナ収束への先ず挑戦だと考えています。

佐藤 政治



「佐藤一斎 像」  
渡辺崋山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉元総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウイキペディア)

# 活動範囲拡大で感じたこと～中国の注目都市～

北九州市大連事務所長 尾崎 英一

最初に中国でコロナウイルスが確認されて以来、早くも1年半以上経過しますが、未だに感染状況の収束には至っておりません。

当事務所も、昨年は私も含め、日本人スタッフが約9か月日本に留まることになり、活動に大きな制約を受けましたが、現在では私をはじめ日本人スタッフが大連に戻り、一部制約はあるものの、中国国内ではようやく正常に近い活動ができるようになりました。

ただ、コロナ禍をはさんで、活動内容は変わりました。コロナ禍以前は主に大連において、日本からの来連者をケアする業務が多かったのですが、日本との往来がストップし、また、昨年の旧上海事務所との統合で活動エリアが中国全土に広がったこともあり、私たちが大連から中国各地に向かうことが増えました。そうした中で、中国にはまだまだ注目すべき都市があることを感じました。

中国では日中地方発展協力モデル区として6都市（天津、大連、上海、蘇州、青島、成都）を指定、日本企業の中国進



在大連自治体事務所訪問団と成都市政府との会話の様子

出支援などの経済協力を推進していますが、今年に入り、私は拠点がある大連や上海以外にも、蘇州、成都を訪問、地元政府関係者と交流し、本市をPRする機会に恵まれました。

蘇州は人口約1000万人、「水の蘇州」とも言われる美しい街ですが、上海（虹橋）から高速鉄道で20分ちょっと、北京からも4～5時間程度で直通しており、交通の要衝となっています。蘇州ではデジタル人民元の実証実験も行われ、高速鉄道の駅周辺にはハイテク産業が集約、自動運転のバスも走るなど、近未来的な街が形成されています。これだけの条件がありながらも、家賃は上海に比べると格安とのことで、今後、注目すべき都市の一つと考えます。



高速鉄道蘇州北駅前の近未来的な街並み

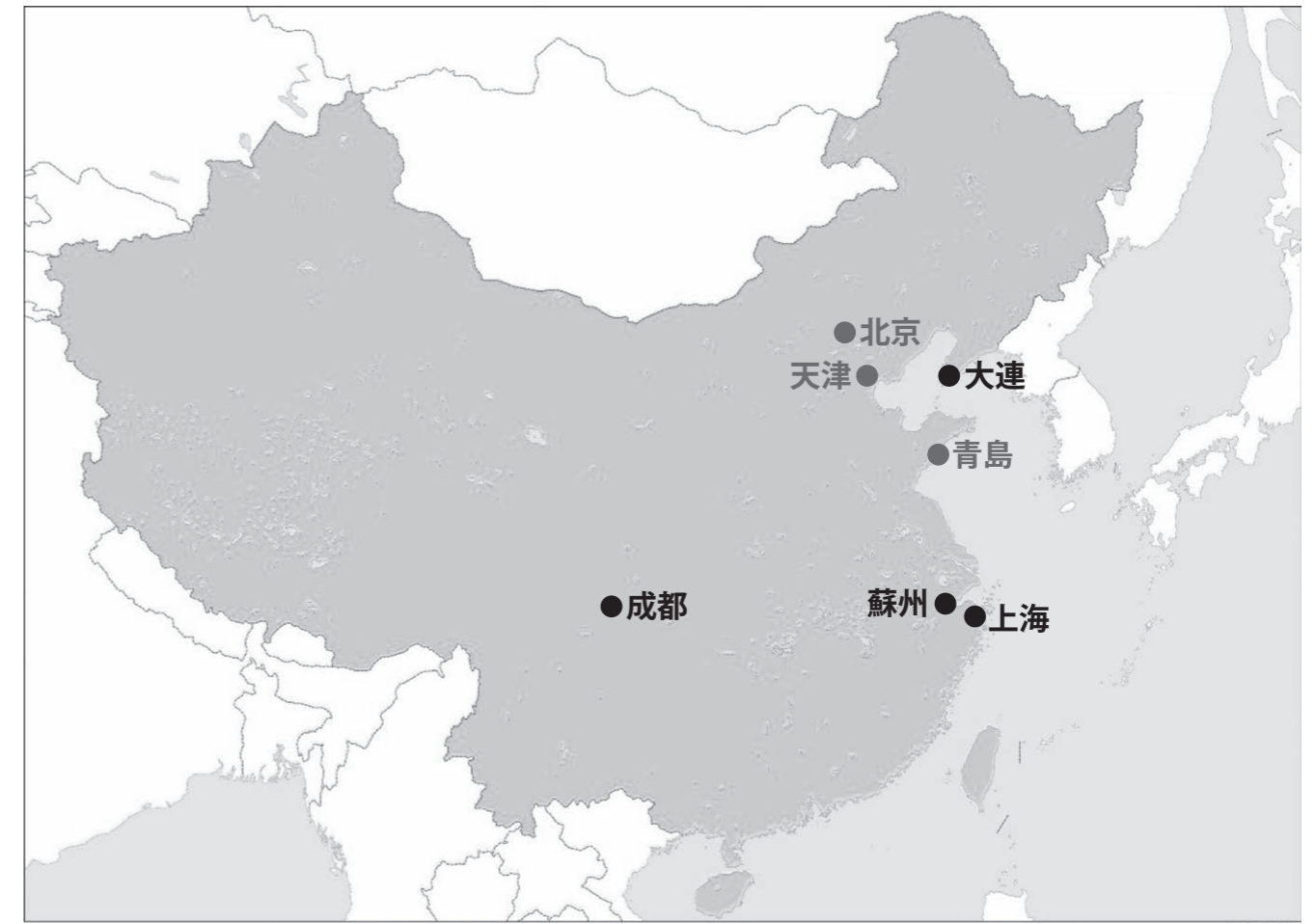
また、成都是、中国内陸部の四川省の省都で、5月には常住人口が2000万人を突破したと報じられ、また6月には2つ目の国際空港も開港するなど発展が目覚ましく、やはり注目すべき都市です。第3次産業が発展しており、日系の大規模商業施設も数多く進出し、イトーヨーカドーが10店舗、他に

伊勢丹などもあり、市民の購買力と日本への関心の高さが感じられます。本市産品もすでに一部店頭で販売されており、今後、一層の販路拡大ができればと考えています。また、パンダのふるさとでもあり、辛くておいしい四川料理など、観光資源も豊富で、往来が再開されれば、新空港の路線拡大による観光などの日中間の人的交流の活発化も期待されます。

出向いてみると、中国には、活力にあふれ、魅力的な都市がまだまだあります。とはいえ、他都市から大連に戻ると、大連の魅力も改めて感じます。人口は約700万人、中国の中ではコンパクトシティでありながらも、日本との交流に特化しており、日本語の通じやすさ、特に本市は友好都市として

の認知度の高さ、生活環境の良さなどはやはり群を抜きます。日系企業数が上海、バンコクに次いで世界第3位というのも納得できます。

当事務所としては、活動エリアの拡大により、当然業務は増えますが、中国全土を俯瞰して見るができるようになったことについては、前向きに捉えていきたいと思えます。今後とも友好都市・大連を拠点として、世界的大都市・上海や蘇州などの華東地域、成都をはじめとする内陸部や、更にはIT産業など経済発展が著しい華南地域でももっと積極的に活動し、中国の活力を本市に少しでも還元できるよう、人脈構築、情報収集に努めたいと思えます。





## 株式会社ワキノアートファクトリー

設立/1955年10月  
本社/福岡県北九州市小倉南区大字呼野601-12  
TEL.093-451-2500 FAX.093-451-2700  
ホームページ/http://wakinoartfactory.upper.jp/

(株)ワキノアートファクトリーと聞いてもパッと何をしている会社かを想像できないと思います。(株)ワキノアートファクトリーは北九州市内に1社しかない花火の製造、販売を行っている会社です。

関門海峡花火大会、わっしょい百万夏まつり、ハウステンボスの花火など通常であれば年間に約200件を超える花火の依頼をいただき打上げを行っております。

ですが新型コロナウイルス拡大の影響により多数のイベントが中止や延期になり花火大会も同様に中止が相次いでおります。

このような状況でも花火屋として地域や世の中のためにできることを考えた時に花火を打上げて上を向いてもらおうと2020年4月に「Be the light」をはじめました。

この「Be the light」は花火製造責任者と営業責任者が2人で少しずつお金を出し合って自社から花火を買って打上げようというものでした。

この相談を社長に掛け合いにいったところ、2人だけで色々背負うのではなく会社としてバックアップするのでやってみればいいのか、ということでスタートしました。

しかし昨年4月の段階では夏の花火大会がほぼ何も決まっておらず、これから世の中がどうなるのかという不安が大きく、そんな中無償で花火を打ち続けることに悩みもありましたが、花火屋として今できることはこれしかないという気持ちでした。

実際に打上げをスタートすると打上げた地域や全国からも「元気ができました」、「感動しました」といったメッセージや他県の花火屋さんからも「同じ企画をやってもいいでしょう

か」、「何かやらなければいけないと思っていたが、一歩踏み出すきっかけがなかったのでもいきっかけになりました」など思っていた以上の反響をいただきました。

昨年6月1日には、全国一斉悪疫退散祈願『CHEER UP!花火』プロジェクトが全国各地で行われ花火業界の中でも大きな話題となりました。

その後昨年7月には配信限定で「キズナハナビ」という企画を立ち上げ、秋田、東京、長野、山梨、徳島、福岡の6地域の花火屋が全国7会場で、それぞれの地域でそれぞれの特徴を生かした花火を打上げ、日本中を花火と絆でつないでいくという花火を実施しました。

さらに昨年12月には花火屋が主催になり花火大会の運営から打上まですべてを行う「Xmasスペシャル花火ふくつ恋の浦2020」を実施しました。今までは花火の依頼を受け、いかに観客を感動させ心に残るような花火を打上げるかということばかりを考えていましたが、主催の立場になると、観客は安全に花火を見られるか、トイレの水は足りているのか、迷子はいないか、交通渋滞はおきていないか、など花火を打上げるまでにここまで大変なのかと今まで携わっていなかった部分に触れることができ新鮮な気持ちと今後の花火大会の在り方、係わり方というものを改めて考えさせられることとなりました。

2021年の現在も今自分たちに何ができるのか、どのような形であれば花火大会を開催できるのか、花火を通じて希望や勇気をもってもらうにはどのような行動をするべきなのか、など新型コロナウイルスの猛威が収まってからではなく、収まった時にすぐに実動できることを日々考えながら今を大切に花火作りと新しい形の花火大会を模索しております。

### ■事業内容

<花火事業部>

- (1) 各種煙火類の製造及び販売
- (2) 発煙筒、その他各種加工品の製造販売
- (3) 各種イベント並びにセレモニーの企画、運営、管理業務
- (4) 各種玩具類並びに贈答品の販売
- (5) 前各号に付随する一切の業務

### ■企業理念

ワキノアートファクトリーはすべての社員が誇りと安心を持って働ける会社を確立してゆきます。

そして、すべての事業活動を通じ、活力のある社会発展のため新たな感動と新しい価値を創造し、夢と感動を追及してゆきます。

## 花火ができるまで

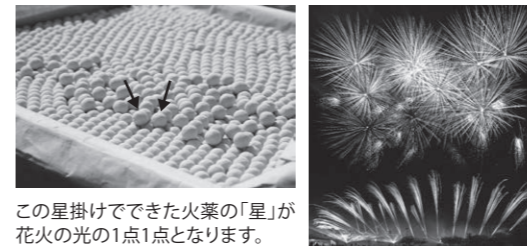
### 1 配合

花火はほぼすべての行程が手作業です。花火は原料を購入し工場内で原料を配合し必要な色や威力の火薬を製造します。配合作業では発光の強さや色の彩度が決まります。



### 2 星掛け

配合した火薬は粉の状態なので2mmの小さなセラミックの玉に火薬をまぶしながら丸い「星」を成型していく星掛けという作業を行います。一日に1~1.5mmずつ大きくし、大きな「星」は35mmまで成長させます。



この星掛けでできた火薬の「星」が花火の光の1点となります。

この成型時に金平糖の製造工程からヒントを得たドラムを使います。

花火製造時における数少ない機械の一つです。

星掛けでは色が同時に変化したり同時に消えたりという精度が決まります。



### 3 玉込め

出来上がった「星」を紙製の玉皮に並べどのような形に花火を開かせるかを定める玉込めという作業を行います。

均等に「星」を並べまん丸く開く花火を理想として玉込めを行います。

玉の中心部には割火薬と呼ばれる花火を割るためだけの火薬を入れ半分が完成します。

もう半分も同じように作成し半分ずつを合わせて1つの丸い玉が完成します。



### 4 玉張り

この丸い玉はこのままでは綺麗に開きません。

玉にしっかりと圧をかけて爆発力を高めるため均等に「星」を飛ばすために玉張りという作業を行います。

1枚貼っては乾かしを繰り返し大きな玉では数百枚貼る玉もあります。



弊社で製造している最大の10号玉(1尺玉)は約2ヶ月間かけて製造し10秒ほどで消えてしまいます。ですが花火を見ている人の心に一生残るようなそのような花火を目指して日々花火作りに取り組んでいます。



北九州物流営業グループ  
〒801-0805 北九州市門司区太刀浦海岸22-1  
TEL.093-331-2111 (代表)

## ▶株式会社ジェネックは1949(昭和24)年に創業し、今年で創立72年の総合物流企業です

1949(昭和24)年、『北九州運輸株式会社』として関門港中心の港湾運送事業を開始し、1963年(昭和38)年に同港においての一般港湾運送事業の免許取得に至りました。その後1965(昭和40)年には佐伯港、1989(平成元)年には博多港での同事業免許の取得と、北部九州地区での事業範囲の拡大を図り、2002(平成14)年に『株式会社ジェネック』と社名を変更、今日に至ります。

当社の事業は港湾廻りを中心とした、以下の3本柱で構成されております。

1. 物流事業(陸上輸送・海上輸送・航空輸送・特殊貨物輸送・倉庫・通関)
2. 港湾関連事業(港湾運送・船舶代理店)
3. 海運事業(内航海運)



## ▶『株式会社ジェネック 北九州物流営業グループ』のご紹介

当グループは当社の中核事業となる『物流事業』を担う部署で、主に関門港を発着する海上輸出入貨物の取扱を行っています。関門港(北九州市)の周辺には様々なメーカー企業様があり、そこで使用する原材料や部品の一部については海外企業からの輸入でまかなわれ、一方でメーカー企業様での完成品の一部は海外企業向けへの輸出が行われるため、これら貨物の荷主もしくは物流元請企業様から輸出入通関手続き、陸上輸送、貨物の積み替え、梱包、倉庫作業等の依頼を頂いております。貨物に応じたきめ細かくかつ迅速な物流サービスの提供を身上としており、特に大型・重量・長尺貨物の取扱においては豊富な作業実績とノウハウを元に安全かつ確実な作業を提供し、依頼者様からの高い評価を頂いております。

## ▶当グループにおける主な取扱貨物

工業都市である北九州市並びにその周辺に立地するメーカー企業様に関係するものを中心に、輸入貨物は自動車関連の原材料・半完成品、非鉄金属貨(アルミや銅のインゴットやスクラップ類)、鉱物系原料貨(カオリン、アルミナ)等を、輸出貨物は半導体製造設備、プラント系貨物、中古自動車(日本同様、右ハンドルを使用する国向け)、大型車輛用タイヤ等を取り扱っております。



自動車部品貨

非鉄金属貨

設備機械

中古自動車

大型・重量・長尺貨物の取扱は  
当社の特殊作業部隊『G-SWAT』にご用命下さい  
(※G-SWAT = Genec Special Work And Transportation)

関門港は、博多港と並ぶ北部九州2大港湾のひとつで、昔から様々な海上貨物の作業が行われてきました。中でも大型・重量・長尺の貨物においてはハード面(荷役機材・機器)ソフト面(人材・ノウハウ)ともに、日本でも有数の充実した港湾であると言えます。

この関門港で長年事業を行う当社・当グループでは数多くの大型・重量・長尺貨物の取扱実績があります。保有する荷役機器も充実しており、作業ノウハウには自信を持っております。お客様からの物流サービスへのニーズは、これまでの港湾エリアでの荷役作業を主としたものから、港湾エリア外から内陸、もしくは離島への輸送も含めたものへと幅広くなって参りました。当社も特殊コンテナへ積載された人工衛星の輸送(北九州空港⇒種子島)、競走用ヨットの輸送(門司⇒福岡)、無人偵察機の輸送(北九州空港⇄離島)等の特殊作業を伴う案件を確実・安全・柔軟に対応し、ご満足いただいております。

当社では顧客ニーズの変化を読み取り、今般、斯様な特殊作業の専門部隊『G-SWAT』の設立に至りました。現場作業に従事するのは作業員(ポートエンジニア)の中でも多様な免許を取得している精鋭部隊で、営業スタッフと協業のもと、あらゆる特殊な貨物に応じた最善かつ最も安全な形での物流サービスの提供を行って参ります。

物流でお困り事等がございましたら、当社・当グループまでお気軽にご相談下さい。



※特殊コンテナ(人工衛星及び関連機材)輸送案件

# アジア経済情報

～「北九州貿易協会ウィークリーニュース」より～

## ■北九州貿易協会ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エー (<http://www.nna.jp/>) の提供するアジアのビジネス情報、北九州市の海外事務所(大連)からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを満載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

韓国 2021.8.31

## 韓国の供給網シフトが本格化 中国からアセアン、リスクも内包

韓国のサプライチェーン(調達・供給網)の中国から東南アジア諸国連合(ASEAN)へのシフトが本格化している。2011～15年と16～20年のASEANへの直接投資額を比べると、韓国の増加幅は7割を超え、主要国・地域で最大となったことが分かった。しかし一方で、新型コロナウイルス感染症の影響でASEANのサプライチェーンは混乱状態。韓国企業の急激なASEANシフトのリスクも浮き彫りになっている。【ソウル・坂部哲生、バンコク・小堀栄之】

韓国の経済団体・全国経済人連合会(全経連)が引用する国連貿易開発会議(UNCTAD)のデータによると、世界からの対ASEAN直接投資額は11～15年時点では5,604億米ドル(約61兆6,249億円)と、対中直接投資額(6,330億米ドル)を下回っていたが、16～20年は11～15年比30.4%増の7,310億米ドルと、10.4%増の6,989億米ドルにとどまった対中直接投資額を上回った。

16～20年の対ASEAN直接投資額を国・地域別で見た場合、全経連が引用したASEANの統計局のデータによると、韓国は317億米ドルで、欧州連合(EU、1,002億米ドル)や日本(898億米ドル)、米国(884億米ドル)、中国(574億米ドル)を大きく下回る。ただ、11～15年と比較した場合の増加幅は74.2%に達しており、中国(65.4%増)、台湾(40.6%増)、日本(21.8%増)、米国(7.0%増)を上回ってトップだった。

ASEANへの直接投資が増えているのは、人件費の上昇が続く中国から周辺国に新たな製造拠点を求める「チャイナ・プラスワン」の動きが広がっていることが大きな要因となっている。ハイテク技術を巡る米中対立激化も後押しとなったようで、英エコノミスト誌は「ASEANは米中対立の最大の受益者」としている。ASEAN域内での同期間の直接投資額も、1,012億米ドルから1,217億米ドルに20.3%増加した。

### ◆最大の投資先はベトナム

韓国の最大の投資先はベトナムだ。大韓貿易投資振興公社(KOTRA)によると、21年6月末時点で、韓国の対ベトナム投資額は累積で720億米ドルと、国・地域別でトップ。21年上半期の世界からの対ベトナム直接投資額は前年同期比2.5%減と予想されるが、韓国の対ベトナム直接投資額は43.6%増加する見通しだ。

2億人以上の人口を抱えて成長著しいインドネシアも人気の投資先だ。全経連は韓国政府に対し、インドネシアとの間で署名した2国間の包括的経済連携協定(CEPA)の早期批准・発効を求めているほか、同国の首都移転事業への参画に対する期待も高まっている。

全経連はベトナムとインドネシアのほか、日本企業のプレゼンスの高いタイにも強い関心を寄せている。特に、バンコク東方の経済特区「東部経済回廊(EEC)」開発への韓国企業の参画を目指す構えだ。

対カンボジアでは、今年2月に交渉が最終妥結した自由貿易協定(FTA)をてこに輸出を拡大したい考え。

### ◆中国の重要性も変わらず

サムスン電子とLG電子が中国にあった家電やスマートフォンの生産拠点をベトナムに、韓国アパレルメーカーのパークランドが中国にあつた靴の生産拠点をインドネシアに移転させるなど、「ASEANシフト」を加速させている韓国だが、ASEANが今すぐ中国に代わる一大生産拠点となれる訳ではない。

日本のフィンランド大使館に勤務し、科学技術に詳しいTeppo Turkki氏が、エコノミスト誌と共同でアジア地域のサプライチェーンの変遷についてまとめた報告書は、「00年までの中間財貿易では、東アジアとシンガポール、マレーシアを中心とするASEANを連結するハブの役割を日本が果たしていた」と分析する。しかし、「10年ごろになると中国が中間財の貿易額で日本を圧倒。名実ともに完全にハブとしての役割を果たすようになり、日韓は中国のサポート役に回った」と説明している。

さらに19年までには、中国を最大の貿易相手国とする韓国が中間財の貿易額で日本を上回った一方、韓国企業の進出が目立つベトナムがASEAN地域の主要なサプライチェーンの拠点として急浮上。中国からASEANへの直接投資も増えたことで、アジアのサプライチェーンは「中心点である中国から放射線状に延びた『ハブ・アンド・スポーク』を形成するようになった」と(同報告書)。

アジアのサプライチェーン研究を専門とする関西大学の後藤健太教授は、NNAの取材に対して「いわゆる『ASEANシフト』というのは、必ずしも『脱中国』を意味していない。中国の経済自体が高度化しているため、比較優位が薄れたタスクについてはASEANなどに移転されている部分もあるが、逆にほかの分野で中国との新たな関わりが生まれている」と解説。「それまで中国に設立した合併企業から調達していた中間財を、地場の中国企業からの調達に変えた韓国企業も出てきているはずだ」との見方を示した。

海外からの中国への直接投資も復活している。UNCTADのデータによると、新型コロナが大流行した20年は、世界の海外直接投資に占める中国の割合は4年ぶりにASEANを上回った。ASEANの割合は13.6%と、前年比で1.8ポイント拡大したが、中国は9.2%から15.0%と大きく拡大した。

一方、韓国の政府系銀行の韓国輸出入銀行によると、韓国の海外直接投資に占めるASEANの割合は、同期間に17.3%から20.3%に拡大した半面、中国の割合は10.3%から9.2%に低下した。

しかしここに来て、外出禁止やロックダウン(都市封鎖)などコロナ禍による規制強化で、ASEANにおけるサプライチェーンの混乱が表面化。現地にある韓国系工場の稼働率が大きく低下するなど、韓国の急速なASEANシフトが、逆に新たなリスクとして浮上している。

英コンサルティング会社オックスフォード・エコノミクスのアナリストのロイド・チャン氏は、「東アジアの地域的な包括的経済連携(RCEP)の発効を控え、ASEANは今後も魅力的な投資先であることには変わりない」としながらも、「韓国企業はさらなるリスク分散に向け、投資先をASEAN以外にも広げるなど、一層のバランスを取る必要がある」と忠告している。

英コンサルティング会社オックスフォード・エコノミクスのアナリストのロイド・チャン氏は、「東アジアの地域的な包括的経済連携(RCEP)の発効を控え、ASEANは今後も魅力的な投資先であることには変わりない」としながらも、「韓国企業はさらなるリスク分散に向け、投資先をASEAN以外にも広げるなど、一層のバランスを取る必要がある」と忠告している。



日本企業に、挑む勇気を。

## 「貿易保険」をご存じですか？

コロナ禍によって取引相手企業の資金繰りが悪化しているかも  
輸出代金、ちゃんと支払われるかな…？

- ▲はじめての取引先だが前金決済に応じてもらえない。
- ▲これまでは後払いでも問題なく支払われているが、今後はコロナの影響もあり心配だ。

「貿易保険」を掛ければ、貸倒れ損失に対して保険金が支払われます。

【モデル保険料】 例：契約金額100万円、船積後60日送金払いの場合  
中小企業農林水産業輸出代金保険、格付EF格の場合

輸出先(支払国)	保険料
U.S.A.向け	6,340円(0.634%)
中国向け	8,240円(0.824%)

- 保険金は貸倒れ額の最大95%!
- 提携金融機関のご紹介で保険料が10%割引!
- バイヤーの信用調査料が8社まで無料!

・中小企業基本法に基づく「中小企業者」及び「農林水産事業者等(一部除く)」に限ります。  
・NEXIの審査結果(格付及び個別保証枠)のみ通知し、調査報告書等はお渡しできません。

政府100%出資の保険会社 NEXI がサポートします!



日本貿易保険 大阪支店 大阪市中央区北浜3-1-22  
TEL 06-6233-4018 0120-649-818 (フリーダイヤル)  
E-Mail: [sme-support-osaka@nexi.go.jp](mailto:sme-support-osaka@nexi.go.jp)  
ホームページ: <https://www.nexi.go.jp/>